

第6学年1組 社会科学学習指導案

日時 令和5年11月20日(月)第2校時

授業者 教諭 宮原 大輔

1 教科等横断的な視点に立った育てたい力について（国語・社会科・道徳科）

（1）共通の単元で育てたい力【言語能力】

互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えを広げたり、まとめたりしていく力を育成する。

（2）指導上の留意点

それぞれの教科で、「話題に対して、立場を明確にして話し合うことで、自分の考えを様々な視点から広げたり、互いの考えを比較したりしながら、自分の考えをまとめる」ことができるようにする。そのために、児童が自分の立場を明らかにするとともに、児童に必要感のある話題を設定するように留意する。話し合う際には、2段階のグループ活動を設定する。グループAでは、自身の考えを交流する。グループBでは、Aで話し合った内容を話してから、考えを交流する。そして、自分の考えをまとめ、再度Aで交流する。異なるグループでの交流の様子を報告させる流れにすることで、他者の考えを捉えることの意義を感じさせたい。また、思考ツールを活用することで、他者との共通点や相違点を整理しながら、自分の考えをまとめさせやすくする。

2 小単元名 「明治の国づくりを進めた人々」

3 単元(小単元)について

（1）教材観

〔第6学年の目標〕

- （1） 我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- （2） 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- （3） 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。

〔内容〕

- （2） 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。
 - （ケ）黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解すること。
 - （シ）遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。
 - イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
 - （ア）世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

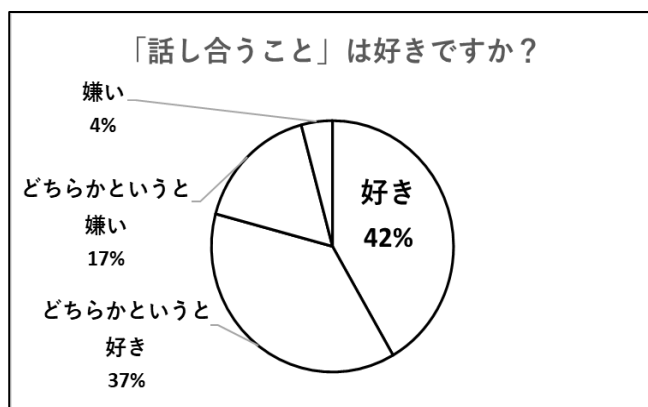
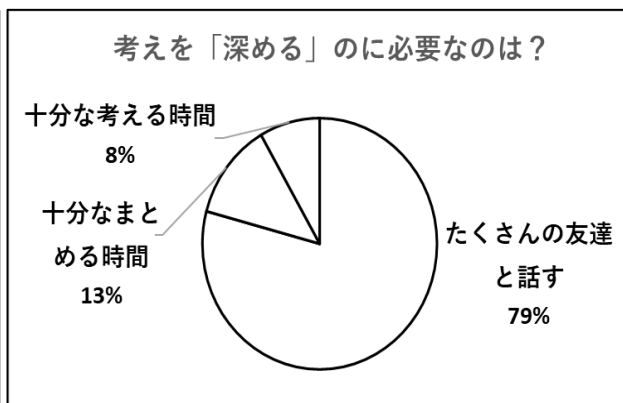
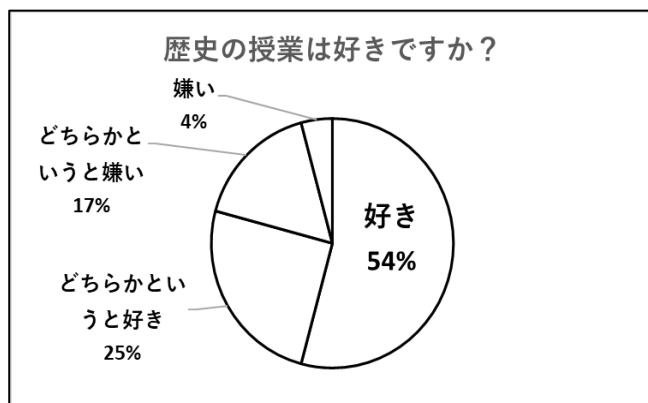
「明治維新」これは激動の時代と言える。黒船の来航をきっかけに、西郷隆盛・大久保利通らの働きによって明治天皇を中心とした新政府ができ、諸改革により日本の近代化が進んだ。さらに、福沢諭吉が欧米の思想を紹介したり、欧米文化が広く取り入れられて当時の人々の生活も大きく変化したりした。和服は洋服になり、まげはザンギリ頭に、道を走る籠は馬車に変わった。武士の時代を長く学習してきた児童にとってこの急激な変化は驚きであり、理由を知りたいという好奇心が溢れてくる。変化した衣食住に加え、鉄道の開通、郵便制度の整備など現在の生活の起源を知ることにもなるものも多く、身近に感じることができる。また、幕末から明治維新における「社会情勢」を踏まえることで、当時の「人々の思い」に触れることができ、「行われた諸改革」と関連付けて考えることができる。

(2) 児童観

本学級の児童は、6年生になってから縄文～江戸時代を学習してきている。学習に対して真面目に取り組んでおり、社会科も積極的な態度が見られる。特に人物への興味が深く、藤原道長や源頼朝、豊臣秀吉が力を伸ばしていった過程や工夫などを意欲的に予想したり、調べたりする姿が見られた。そのため、それぞれの人物への理解は深めることができる。

しかし、一方で学習した人物の視点で捉える度合いが強いことも挙げられる。そのため、社会的事象への見方、価値が偏ってしまったりする傾向が見られた。また、時代背景、文化などを総合して考えることが苦手な児童が多く見られる。特に資料の読み取りについては得た情報を的確に捉え、意欲的に発言できる児童が見られる反面、難解な語句や文を読み取ることができず、考えることに消極的になってしまう児童もいる。下記のアンケートで「歴史が嫌い」と回答した要因もこの点にあると考える。

授業では、話し合うことが好きな児童が多い。男女問わず、課題に対して意欲的に交流することができる。以下のアンケート結果からも、79%の児童が「話し合い」に対して好印象を持っていることがわかる。更に、「自身の考えを『深める』ためには、友達と話すことが必要」と考える児童も多く、話し合う意義を感じている様子も見られる。一方で、約20%の児童が「嫌い」と答えている。そのため、本単元では「自信をもって交流できる」よう留意していく。



【話し合いを「好き」と答えた理由】

- ・楽しいから
- ・(自分と違う)いろいろな意見が聞ける。
- ・合っているかわかり、安心する。
- ・自分がわからなくても、話し合えばわかる。

【話し合いを「嫌い」と答えた理由】

- ・自分が合っているか、わからないから。
- ・伝えるのが苦手。
- ・話し合いが好きじゃない。
- ・考えるのが嫌い

(3) 指導観

上記のように本学級の児童は、これまでの社会科の学習の中で、「話し合うことが好き」であり、積極的に取り組む児童が見られる。しかし、その一方で「社会科（特に政治内容）は難しい」と感じている児童も多い。そこで、本単元では、以下の点に留意する。

①児童が学習内容を端的に捉えようとする学習過程

「明治維新は誰が、どのように進めたのだろうか？」という単元を貫く学習問題を解決していく過程を設定した。「どのように」の部分が政治的な内容を捉えることになる。毎時間の終末では、人物が行ってきたことを人物年表にまとめていく。その際、「資料を『端的』に捉え、『児童の言葉』でまとめる」ように指導する。そうすることで、児童は難解な語句を換言するために社会的事象の意味を主体的に捉えようとし、定着もしやすいと考える。

②「児童の考えを深め、まとめる学習活動」の設定

第3～4時では『富国強兵』のためにどの政策が一番大事だったか」という問いに対して話し合い、考えを深めたり、まとめたりする学習活動を行う。

児童は、国語科単元『一番大事なものは』で、「中学校で一番大事にすべきことは」というテーマで話し合いを経験している。自身が作成した「ダイヤモンドランキング」を活用して他の児童と交流しつつ、優先順位を視覚的に捉えることで、他の児童と比較したり、価値づけをしたりしやすくする。こうすることで、自分の考えと比較できることに加え、自身が気づけなかった視点や関連に気づかせることをねらいとする。また、教師は「一番を決めること」を目的とするのではなく、児童が根拠をもって主張することで、「時代背景や他の改革との関連に目を向けさせること」を重視することに留意したい。

4 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

幕末から明治の初めの様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、幕末から明治の初めの歴史上の主な事象を捉え、展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現することを通して、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする態度を養う。

(2) 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①明治維新の様子、人物の働きについて地図や年表などの資料で調べ、人物年表などにまとめている。 ②我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解している。	①明治維新について、学習問題や予想、学習計画を考え、表現している。 ②明治維新を機に我が国が目指した国について、自分の考えを表現している。	①明治維新の様子、人物の働きについて、予想や学習計画を立て、見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

5 小単元の指導計画・評価計画（9時間扱い）

	○学習活動・学習内容	【評価の観点】 内容 〈方法〉
つ か む 調 べ る	①江戸時代と明治時代の違いを調べ、学習問題を見出す。 ・江戸時代末ごろの日本橋近くの様子と明治時代初めごろの日本橋近くの様子の違い ・明治維新 ・学習問題を見出すこと ・学習問題に対する予想を立てること 単元を貫く学習問題 明治維新は誰が、どのように進めたのだろうか？	【思・判・表①】 2枚の絵の違いを調べ、自らの疑問をもとに学習問題を考えている。 〈発言・ワークシート〉 【態①】 学習問題についての予想から、学習問題を解決していくための見通しを持つようとしている。 〈発言・ワークシート〉
	②ペリー来航と、その影響について調べる。 ・ペリーが黒船で来航し、開国を求めたこと ・幕府がアメリカと諸条約を結び、開国したこと ・政権が幕府から朝廷に移ったこと	【知・技①】 黒船来航をきっかけに、幕府の政治に不満をもった若い武士たちによって明治維新が進められたことを理解している。 〈発言・人物年表〉
	③大久保利通が進めた国づくりについて調べる。 ・廃藩置県 ・徴兵令 ・殖産興業 ・地租改正 ・学制 ・欧米の影響を受けたこと ・「富国強兵」に一番重要な改革を考えること	【知・技①】 明治の諸改革が富国強兵のために進められたことを理解している。 〈発言・ワークシート・人物年表〉
	④明治維新の諸改革の重要性について話し合う。 (本時) ・明治維新の諸改革の中で「どれが一番重要か」について話し合うこと ・互いの立場や意図を明確にして話し合うこと ・自分の考えを深めたり、まとめたりすること	【思・判・表②】 『富国強兵』のために一番重要だと思う改革について、根拠をもって話し合っている。 〈発言・ワークシート〉
	⑤日本政府が領土を広げた方法について調べる。 ・蝦夷地と琉球王国を日本の領土としたこと ・同化政策	【態①】 明治維新で、「北海道」「沖縄」がどのように設置されたのかを年表や資料から考えようとしている。 〈発言・ワークシート〉
	⑥明治の人々の生活や思考の変化について調べる。 ・文明開化（鉄道、郵便制度など） ・福沢諭吉	【知・技②】 文明開化によって、欧米の影響を受け、生活や人の考え方も変化したことを理解している。〈発言・ワークシート〉
	⑦絵画資料や文献資料、地図などを活用して、自由民権運動の広がりについて調べる。 ・西南戦争 ・板垣退助 ・自由民権運動	【知・技①】 自由民権運動が、全国に広がったことや資料から読み取り、理解している。〈発言・人物年表・ワークシート〉
	⑧大日本帝国憲法と政治の仕組みについて調べる。 ・大隈重信 ・伊藤博文 ・大日本帝国憲法 ・国会開設 ・選挙権	【知・技②】 伊藤博文が中心となって作った明治憲法の特徴を理解している。 〈発言・ワークシート〉
ま と め る	⑨調べてきたことを人物年表にまとめ、学習問題に対する結論について考える。 ・学習したことを人物年表にまとめること ・自分なりの結論を考えること 学習問題に対する結論 西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允たちが、欧米の仕組みや文化を取り入れながら明治維新を進め、『豊かで強い国』を目指した。	【思・判・表②】 明治維新について人物年表にまとめ、それを基に学習問題の答えを書こうとしている。〈ワークシート〉

6 本時の学習指導 4/9

(1)目標

「『富国強兵』のために一番重要だと思う改革」について、根拠をもって話し合うことができる。

(2)展開

学 習 活 動・学習内容	・指導上の留意点 評価 (方法)	資料等	時間
1 前時までの学習内容を振り返る。	・既習事項の掲示物等を生かして、効率的に振り返る。	・既習事項を記した掲示物	2
2 本時の課題をつかむ。 ・学級の状況を把握すること	・前時までの考えを MetaMoJi で示し、学級の状況を把握させ、疑問をもつきっかけとする。	・前時で出た考えの内訳	
明治維新の改革の中で、『富国強兵』のために一番重要なのはどれだろうか。			
3 話し合いの方法を確認する。 ・話し合いの進め方 ①グループAでの話し合い ※異なる考え同士の交流 ②グループBでの話し合い ※同じ考え同士の交流。 ③自分の考えをまとめる。 ④再度グループAでの話し合い	・話し合いの際には、最初に「自分の立場（〇〇が1番重要）」を明確にするよう指導する。 ・ダイヤモンドランキングを見合いながら話し合うことを伝える。 ・班全員の意見を聞いた後は、質問をし合う時間とする。 ・質問は、自分か他者の「1番」に関連するものを重視する。	・児童が作成した「ダイヤモンドランキング」	2
4 グループAで話し合う。 ・「『富国強兵』のために一番重要な改革」について話し合うこと	・自分の「1番」と友達の「1番」を比べさせることで、新しい視点で考えられるようにする。 ・資料を根拠に話させるようにする。	【資料1】 地租改正前後の国の収入	8
5 Bグループで話し合う。 ・Aでの話し合いの内容を話し、資料をもとに自分たちの考えを見つめ直す	・グループAでの内容を伝える際には、「何が1番に挙がっていたか」を伝えるよう指示をする。	【資料2】 江戸時代と明治時代の「兵」の比較	9
6 自分の考えをまとめる。 ・考えを修正、まとめること	・話し合っ、ランキング（優先順位）が変わったら、修正してよいことを伝える。	【資料3】 1865年の輸出品	9
7 グループAで話し合う。 ・自分のまとめ（変更含む）を伝えること	【評】「『富国強兵』のために一番重要だと思う改革」について、根拠をもって話し合っている。 【思・判・表】〈発言・ワークシート〉 ⇒考えることが難しい児童には、以下のような支援を行う。 ・影響を受けた友だちの考えを理由にするよう助言する。 ・「1位」が変わった時は、新しく理由を書くよう指示する。	【資料4】 生糸の生産量の変化 【資料5】 廃藩置県前と後の政府の力の変化 【資料6】 学校へ行く子どもの割合	5
『富国強兵』のために一番重要なのは「〇〇〇」である。なぜなら…			

8 話し合いを振り返る。 ・自分の変容を捉えること ・最後の学級の状況と変化を把握すること	・本時の考えをMetaMoJiで示し、学級の状況から変化を捉えさせる。		7
9 今後の学習への見通しをもつ。	・考えたランキングが「政府側」から見たものであり、「国民側」の立場から見ると、全く異なることに気づかせ、第7時への見通しをもつ。		3

(3)板書計画

明治維新の改革の中で、『富国強兵』のために一番重要なのはどれだろうか

**お互いの
1番に注目**

①グループAでの話し合い
※異なる考え同士の交流
 ②グループBでの話し合い
※同じ考え同士の交流。
 ③自分の考えをまとめる。
 ④再度グループAでの話し合い

学制【学力】

徴兵令【軍事力】

地租改正【お金】

廃藩置県【組織力】

殖産興業【技術力】

資料1
地租改正前後の国の収入

資料2
江戸時代と明治時代の「兵」の比較

資料3
1865年の輸出品

資料4
生糸の生産量の変化

資料5
廃藩置県前後の政府の力の変化

資料6
学校へ行く子どもの割合

道徳科「ロレンゾの友達」

- ① 本当の友達とは、何が相手のためになるのかを考え、場面や状況に応じて相手を助けたり、尊重したり、先を見て厳しく接したりすることができる友達であることに気付き、友達とよりよい関係を築こうとする心情を育てる。

ねらい
本当の友達とは、どんな存在か。

- ・教材をもとに、本当の友達がもつ友情観について3人の登場人物の考えを踏まえて立場を明確にして話し合う。

【アンドレ】お金をもたせて逃がす。

【サバイユ】自首を勧めるが、本人が納得しない場合は逃がす。

【ニコライ】自首を勧める。納得したら付き添うが、そうでない場合は警察に知らせる。

社会科「明治の国づくりを進めた人々」

課題把握

- ① 江戸時代から明治時代にどのような変化が起きたのだろうか。

単元を貫く学習問題

明治維新では、誰がどうやって日本を変えていったのだろうか。

- ② 黒船が来たことは、日本にどんな影響を与えたのだろうか。

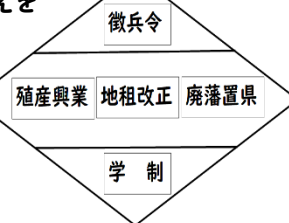
- ③ 大久保利通が目指したのは、どんな国だろうか。

- ・資料を活用して、明治の諸改革について調べる。
- ・大久保利通の改革の中で、「強く豊かな国」になるために『1番重要だったもの』を選び、自分の考えを書く。

・廃藩置県 ・地租改正 ・殖産興業 ・徴兵令 ・学制

- ④ 明治の諸改革についてグループで考えを交流し、自分の考えをまとめる。

- ・立場を明確にしながら交流し、考えを広げたり、まとめたりする。
- ・話し合いの振り返りをする。



- ⑤ 明治時代になって、人々の生活はどのように変わったのだろうか。

- ⑥ 日本政府は、どのように領土を広げていったのだろうか。

- ⑦ 政府に不満を持つ人々は、どのような行動をとったのだろうか。

- ⑧ 憲法ができたことで、政治はどうなっていったのだろうか。

課題追究

課題解決

単元を貫く学習問題に対する結論

- ⑨ 西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允たちによって、ヨーロッパの仕組みや文化を取り入れ、『豊かで強い国』をつくっていった。

国語科「いちばん大事なものは」

- ① 話し合いを通して「自分の考えを深めたり、まとめたりする」という単元の見通しをもち、話題に対する自分の考えを書く。
- ・話し合うことの価値や意義を知り、考えが広がったり深まったりすることを知る。
 - ・話題に対して、自分の考えを書く。

単元を貫く学習問題

話を聞き合って自分の考えをまとめよう。
『中学校生活でいちばん大事なものは』

・勉強 ・友だちとの関係 ・部活動
・先輩との関係 ・その他

- ② 立場を明確にしながら2つのグループで考えを交流し、自分の考えをまとめる。
- ・グループ A (異なる考え同士の交流)
 - ・グループ B (同じ考え同士の交流)

「A で出たことの報告」
→ 「自分たちの考えの見直し」

- ・自分の考えをまとめる。
- ※この時に変えてもよい
- ・再度グループ A (まとめた考えを交流)

- ③ 話し合いの振り返りをする。
- ・自分の考えの変容について振り返る。
 - ・話し合いの価値・意義について振り返る。